

「自然のめぐみ」に何が起きている？ ～生物多様性ってなに？～

きょうきゅう 供給



「原材料」まで考えると、ほとんどのものが「自然」とつながっています

食べ物や水、薬、エネルギーなどを与えてくれる

ちょうせい 調整



森林は酸素を作ったり、水をはぐくみ洪水を防ぐはたらきもしてくれています。



ミツバチが受粉を助けてくれるから、私たちは農作物を食べることができます。

環境を調整し、生きる基盤をとのえてくれる

せいそく せいいくち 生息・生育地



地球にはさまざまな環境があり、それぞれの場所で、いろいろな生きものが暮らしています。

様々な生きものに暮らす場所を提供してくれる

私たちは自然からどんな「めぐみ」を得ているのでしょうか？

例えば、きれいな水やおいしい空気、食べものなどはわかりやすいと

思います。また、美しい景色けしきを見ると気持ちがいやされたり、

おだやかな気候は「暮らしやすさ」にもつながっています。

私たちが心も体も健康に生きるために欠かせない「自然が与えてくれる

めぐみ」は「生態系サービス」と呼ばれ、「供給」きょうきゅう「調整」ちょうせい「生息・生育地」せいそく・せいいくち

ぶんか「文化」の4つのサービスに分けて整理をされています。

文化



地域らしい食べ物や、祭り。レクリエーションや観光などの「文化」は人の暮らしを豊かにしてくれる。

「自然のめぐみ」に何が起きている？ ～生物多様性ってなに？～

こうしためぐみを生み出してくれる自然のつながりのことを「^{せいぶつたようせい}生物多様性」といいます。地球には私たち「人間」以外のいきものも暮らしており、わかっているだけで137万種。実際には870万種ものいきものがあるとも言われています。地球が誕生してから40億年。長い時間をかけて生み出された様々な環境と、そこで生まれ、^{しんか}進化したいきものたち。それらが色々な形でつながり、関わり合いながら暮らしていること。そして、私たち人間もその「いのちのつながり」の一員なのだ、ということを表す言葉です。



「^{せいぶつたようせい}生物多様性」は、左の図のように3段階にわけることができます。

1つ目は、地球上の様々な「^{かんきょう}環境」の多様性。

2つ目は、それぞれの環境でくらす「いきもの」の多様性。

3つ目は、それぞれのいきものがもつ「^{いでんし}遺伝子」の多様性です。

それらすべてがつながり、関わり合いながら、同じ「地球」に存在しているのです。

「自然のめぐみ」に何が起きている？ ～生物多様性ってなに？～

せいぶつたようせい
では「生物多様性」にはどのようなことが起きているのでしょうか。

いきお ぜつめつ
今、ものすごい勢いで地球のいきものたちが絶滅しています。地球上にはまだ人間が知らない種もたくさんいるため
確実なことは言えませんが、1日に100種以上、1年間では4万種が絶滅している、と主張する研究者もいます。



ウナギやマグロが「絶滅危惧種」になった、
というニュースに聞きおぼえがある人も
いるのではないのでしょうか。

ぜつめつきぐしゅ

世界の絶滅危惧種:41,459種
(IUCN RED LIST 2022年10月)

ぜつめつきぐしゅ

日本の絶滅危惧種:3,716種
(環境省レッドリスト2020)

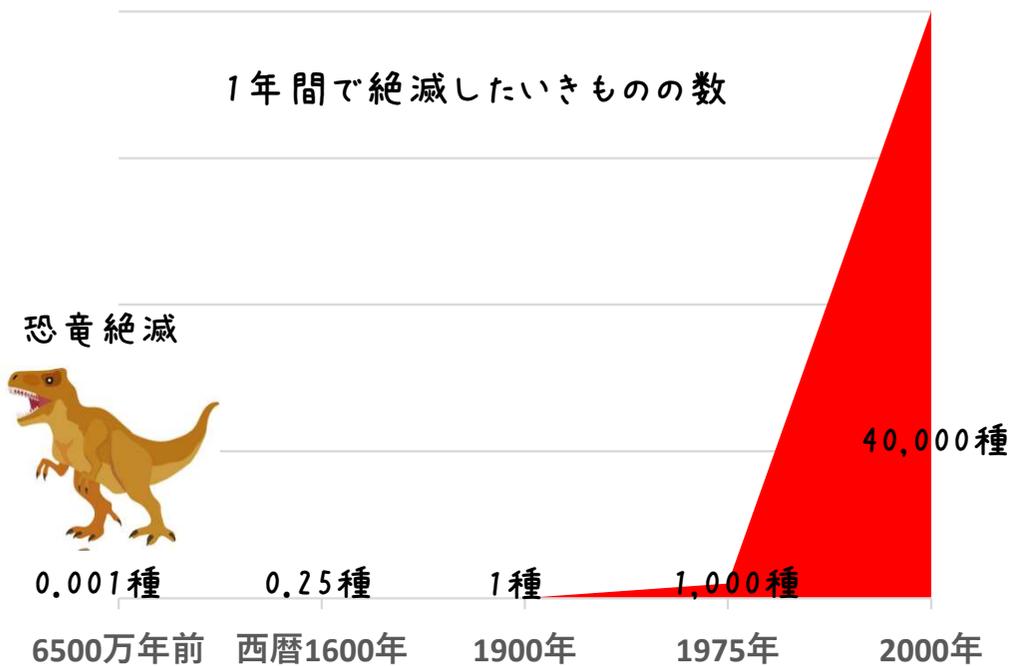
「自然のめぐみ」に何が起きている？ ～生物多様性ってなに？～

これまで地球ではいわゆる「^{たいりょうぜつめつ}大量絶滅」が5回起きています。

現代は6回目の絶滅とも呼ばれますが、過去と全く異なるのが、^{ぜつめつ}今起きている絶滅の原因が「人間の活動によるもの」

であることです。人間は^{かがくぎじゅつ}科学技術の進歩によって自然を大きく変える力を持ち、その力で、より便利で豊かな生活を手に入ってきました。しかしその結果、たくさんのいきもたちが絶滅の危険にさらされています。

今、起きている絶滅は、自然状態で起きる絶滅の100倍から1,000倍のスピードで引き起こされていると言われています。



いきものの絶滅の原因は・・・

(日本の場合)

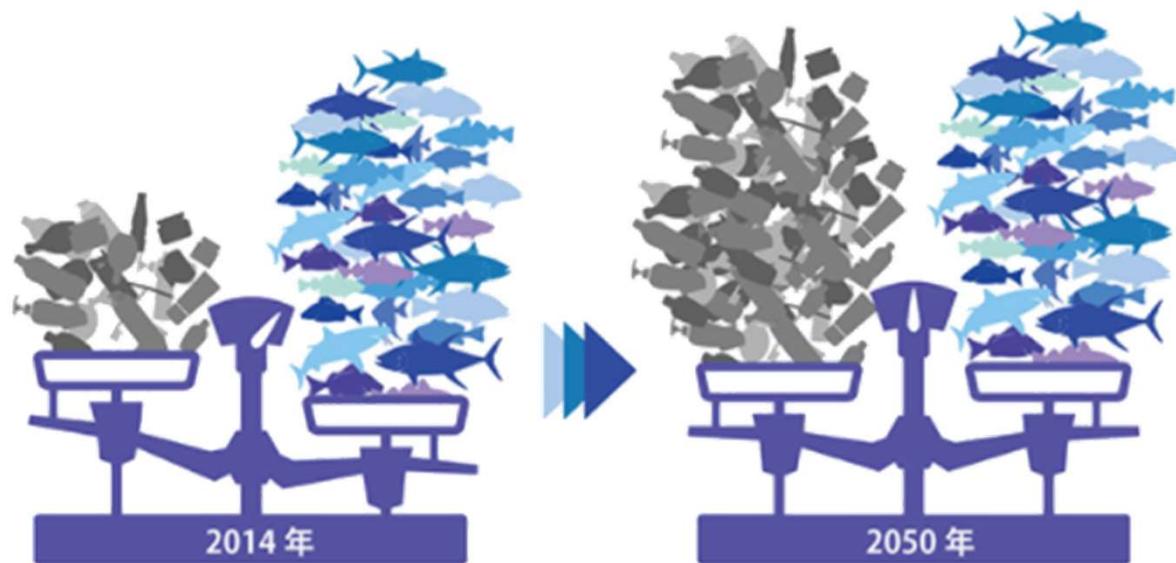
1. 開発や乱獲(とりすぎ)
2. **里地里山**の手入れ不足による質の低下
3. 人がもちこんだもの(**外来種**や化学物質など)による影響
4. 地球温暖化の影響

「自然のめぐみ」に何が起きている？ ～生物多様性ってなに？～

では、人間の世界はどうでしょうか？

今、人間もたくさんの課題を抱えています。例えば、プラスチックごみの問題では、このままだと2050年には、海に生息する魚よりもプラスチックごみの方が多くなるという予測がされています。また、温暖化がこのまま進めば自然災害の増加や海水面の上昇などにより、多くの人々の暮らしが困難になるといわれています。

「^{ゆた}豊かで、^{かいてき}快適に暮らす」ためにしてきたはずのことが、他のいきものたちだけでなく、私たち人間のいのちや未来もおびやかしているのです。



このままプラスチックごみを出し続けると・・・

毎年800万ヶが
海に流れこむ



World Economic Forum (2016)
The New Plastic Economy : Rethinking the future of plastics

「自然のめぐみ」に何が起きている？ ～生物多様性ってなに？～

せいぶつたようせい

「生物多様性」とは、地球が長い歴史のなかで育ててきた「命のつながり」であり、私たち人間もそのつながりの一員です。人間以外のいのちのつながりを断ち切りながら、私たちだけが栄え続けることは不可能です。

SDGsの「ウェディングケーキ」の土台にある目標は、自然やほかの生きものたちと共生できる社会＝人間が生き続けることができる社会を作るための目標です。琵琶湖でも、環境を守るための取り組みが沢山はじまっています。

皆さんのまわりの環境にぜひ、目を向けて下さい。

そして「地球のいのちのつながりの一員」としてなにができるのか。一緒に考えていきましょう。

